

最先端研究開発支援プログラム「心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的
展開」国際シンポジウム

「幹細胞から見た神経発生」

Neural Development: Stem Cell Perspective

日程:2012年1月17日(火)—18日(水)

場所:慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

(<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>)

主催:理化学研究所脳科学総合研究センター 駐日英国大使館

共催:慶應義塾大学 実験動物中央研究所

後援:内閣府(予定)、文部科学省(予定)

慶應義塾大学-理化学研究所 人間知性研究センター

慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」

問い合わせ先: first-gbm@or.knt.co.jp (シンポジウム事務局)

対象:脳科学に関心のある方(特に発生工学、神経発生分野の研究者及び一般)

言語:英語(同時通訳なし)

参加費: 無料 (事前参加登録)

お申込み: <http://www.brain.riken.jp/jp/event/StemCell/>

にて12月6日より受付開始

概要:

私たちのプログラムは、遺伝子改変マウスマウスを用いた研究などさまざまなアプローチから脳の高次機能メカニズムを明らかにし、種を越えた心の神経基盤を明らかにすることを目指しています。本シンポジウムでは、モデル動物作製と神経発生に関して幹細胞から考察することにより、その解明に迫ります。本プログラムの研究手法に関する議論も行いますので、積極的に参加いただける方のご来場をお待ちしています。

講演者(敬称略、名字アルファベット順)

Byoung-II Bae (Children's Hospital Boston, Harvard Medical School)

Andrea Brand (University of Cambridge)

糸原重美 Shigeyoshi Itohara (理化学研究所脳科学総合研究センター)

Pentao Liu (Wellcome Trust Sanger Institute)

松崎文雄 Fumio Matsuzaki (理化学研究所発生・再生科学総合研究センター)

Shoukhrat Mitalipov (Oregon Health and Science University)

宮田卓樹 Takaki Miyata (名古屋大学大学院)

仲野徹 Toru Nakano (大阪大学大学院)

Jennifer Nichols (University of Cambridge)

丹羽仁史 Hitoshi Niwa (理化学研究所発生・再生科学総合研究センター)

野瀬俊明 Toshiaki Noce(慶應義塾大学先導研究センター)

岡野栄之 Hideyuki Okano (慶應義塾大学医学部)

John Parnavelas (University College London)

William Richardson (University College London)

佐々木えりか Erika Sasaki (実験動物中央研究所)

下郡智美 Tomomi Shimogori(理化学研究所脳科学総合研究センター)